

2014年9月17日
SMBC日興証券株式会社

SMBC日興証券、「IBSA ブラインドサッカー世界選手権 2014」に協賛

SMBC日興証券株式会社は、「多様性の尊重」を経営理念の柱の一つとしており、「ブラインドサッカーを通じて、視覚障がい者と健常者が当たり前に混ざり合う社会を実現する」との日本ブラインドサッカー協会[※]のビジョンに深く共鳴し、このたび、CSR活動の一環として、「IBSA ブラインドサッカー世界選手権 2014(以下、世界選手権)」に協賛することといたしました。

1998年にブラジルで初めて開催された世界選手権は4年に一度開催され、2004年にブラインドサッカーが正式競技となったパラリンピックと並ぶ世界大会のひとつです。

当社はこれまで、金融の力を、世代を超えた未来に活かすべく、本業を通じたCSR活動に取り組んでまいりました。また、多様性を尊重することにより、性別や障がい、国籍、人種等の別なく社員全員がともに輝き、活躍できる企業を目指し、会社をあげて取り組んでおります。

今後も、当社はCSR活動の一環として、ブラインドサッカー支援を通じて全ての人が尊重される社会の実現に貢献してまいります。



<IBSA ブラインドサッカー世界選手権 2014 世界選手権ロゴ・IBSA ロゴ>

<前回 2010 年のイングランド大会の様子>

※公益財団法人日本障がい者スポーツ協会正会員で、「日本視覚障害者サッカー協会」として2002年10月に設立、2010年8月に「日本ブラインドサッカー協会」に改称しました。「ブラインドサッカーを通じて、視覚障がい者と健常者が当たり前に混ざり合う社会を実現すること」をビジョンに、また「ブラインドサッカーに携わるものが障害の有無に関わらず、生きがいを持って生きること」に寄与すること」をミッションに掲げ、様々な事業を展開しております。理事長は釜本美佐子氏です。また、ブラインドサッカーは、障がい者サッカーの全盲クラス(B1)とされ、アイマスクを装着し、音の鳴るボールでプレーする5人制サッカーです。詳しくは、(<http://www.b-soccer.jp/>)をご覧ください。

大会概要

- 大会名: **IBSA ブラインドサッカー世界選手権 2014**
IBSA Blind Football World Championships 2014
- 主催: 日本ブラインドサッカー協会 (JBFA: Japan Blind Football Association)
- 共催: 国際視覚障害者スポーツ連盟 (IBSA: International Blind Sports Federation)
日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会
- 後援: 厚生労働省／独立行政法人日本スポーツ振興センター
東京都／渋谷区／新宿区
公益財団法人東京都障害者スポーツ協会／公益財団法人東京都サッカー協会
- 大会日程: **2014年11月16日(日)～24日(月・祝)**
- 会場: 国立代々木競技場フットサルコート(仮設スタンド設置)
〒150-0041 東京都渋谷区神南2丁目1-1
- 競技クラス: **B1(全盲)クラス**
- 出場チーム数: **12チーム**
A組: 日本、フランス、パラグアイ、モロッコ
B組: ブラジル、トルコ、中国、コロンビア
C組: スペイン、アルゼンチン、韓国、ドイツ
(欧州選手権、コパ・アメリカ、アジア選手権の上位国およびアフリカ代表)
- 大会方式: **12チームを3組に分け、各組4チームが1回戦総当りのグループリーグを行う**
勝ち点等の上位8チームが決勝トーナメント進出。順位決定戦も行う。全34試合
優勝チームには2016年リオデジャネイロ・パラリンピックの出場権が付与される
- 大会事務局: 日本ブラインドサッカー協会
〒169-0073 東京都新宿区百人町1-23-7 新宿酒販会館2階
- 大会公式サイト: <http://wc-blind-football.com/>

以上